

浦安の子どもたちとともに

べかぶね

浦安市青少年補導員連絡協議会 浦安市青少年センター
〒279-8501 浦安市猫実1丁目1番1号 TEL047 (351) 1111 (代表)



『べかぶね』再開に寄せて 浦安市青少年補導員連絡協議会副会長 大塚 則之 大滝 美佳

コロナの収束はまだのようですが、何とか日頃の我々の活動もほぼ出来る状況になり、この度暫く休んでいた広報誌「べかぶね」も2年ぶりに発行することになりました。日常が戻りつつあることを実感し大変嬉しく思います。

「愛のひと声」という合言葉の中、子ども達に寄り添う立場でありたいと今期より「みまもり隊」という別称を設け、キャラクターの「ケロヤス」の付いた緑のビブスを着てバッジも付けてパトロールを行ってきました。浸透には時間がかかりますが根気よくやっていきたいと思えます。

昨年11月に野田市で県大会が開催され、長年補導員の仕事に携わってきた方々が表彰され頭が下がる思いでした。我々も諸先輩方に続き、子ども達の立場にたって「みまもり隊」として新たな一歩を進めたい思いです。

最後にキャラクター「ケロヤス」を考案していただいた補導員の大河原様、市職員の方々、べかぶね編集委員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

「安心できる存在」

浦安市青少年センター運営協議会会長 大友 隆司

三十数年前、舞浜小学校から「青少年補導員」として街頭補導活動に参加させていただきました。当時は、まだ「シンナー吸引や喫煙」などの補導事案も多く、そのような場面に遭遇し緊張したのを覚えています。そして、何よりも、当時青少年センター職員として勤務されていた大先輩であるE先生の彼らへの接し方が、今でも印象に残っています。

鹿児島県の離島出身である先生の独特な言い回しと、叱るでもない優しい言葉がけで、彼らの表情や目つきが穏やかに変わり、指導に素直に応じつつ、逆に彼らから話しかけてくる時もありました。叱られ、指導されるのが日常であったであろう彼らにとって、何度でも根気強く関わってくれるE先生は「安心できる大人・存在」であったのではないかと思います。見守る姿勢や温かい言葉かけの大切さを学んだ時でもありました。

「補導活動への参加や地域の方々（補導員）との関わりは教員として大切な経験となる。」という当時の先輩方の教えのとおり、その経験は若かった頃の、また、今の自分にとっても貴重な経験であったと思っています。

<ブロック紹介>

浦安中学校ブロック

浦安中ブロックは総勢 17 名で活動しています。小学校 3 校、中学校 1 校、高校 1 校があり、浦安駅周辺から市役所までの広範囲をパトロールしています。

パトロールは、中央公民館に集合して夜 7 時から二手に分かれてしています。当代島・北栄方面は、子ども達の姿はほとんど見かけません。猫実・市役所方面は、浦安公園があり、子ども達の姿を見かけることがあり、早く帰宅するように声かけをすることがあります。

浦安駅周辺には大きな公園がなく、唯一浦安公園が出来て子ども達の遊び場となっていますので、これからも見守っていきたいと思います。

堀江中学校ブロック

市内最大級の児童数を有する南小学校、日本屈指のリゾートエリアに隣接しつつも閑静で凛とした雰囲気を保つ舞浜小学校、生徒会皆さんが行儀の良さと溢れる活気で全校生徒を元気づけている堀江中学校、そんな個性豊かな各校より、先生方と PTA 役員がそれぞれ 1 名ずつと、有志者 7 名の計 13 名で構成されている堀江中学校ブロック。

夏には心地良い風を感じる江戸川堤防沿い、市民の憩いの場にもなっている「しおかぜ緑道」、日本一小さいのでは…？と、隊員内で話題になっている公園等、古き良き街並みから、大きな家が建ち並ぶ住宅街など、個性豊かな風景を楽しみつつ、勇気と「ケロヤス」を胸に積極的かつ心を込めて「愛のひと声」に取り組んでいます。

富岡中学校ブロック

富岡中ブロックでは、始業式の早朝パトロールと夕暮れ時のパトロールを継続的に実施しています。

ブロック内には大小さまざまな公園やマンション内の広場があり、幅広い年齢の子ども達が元気に遊んでいます。

夕暮れ時に帰宅を促す際には、マスクで私たちの表情がわかりにくい分、明るく親しみやすい声で「愛のひと声」をかけることを常に心がけています。

またパトロール中に地域住民の方とも積極的にあいさつを交わすことで、みまもり隊の活動を広く知っていただき、地域全体で子ども達を温かく見守る意識を高めることにつなげていきたいと思い、活動しています。

見明川中学校ブロック

見明川中ブロックでは、見明川中正門前に集合し、今川方面・舞浜方面エリアを交互にパトロールしています。毎回夕暮れの時間帯に、エリア内の公園を重点的に巡回しています。

これまでに、自転車の無灯火や危険運転をする子どもに声をかけてきました。また、運動公園では、時間を忘れて暗くなるまで、遊んでいる子ども達を見かけるため、帰宅を促しています。

新学期早朝パトロールでは、車や自転車の往来が多い学校前の T 字路で、小中学生の登校を挨拶と共に見守っています。

美浜中学校ブロック

我々美浜中ブロックは、先生3名、PTA3名、有志者3名の計9名です。コロナ禍で子ども達を外で見かけなくなり「声かけ」の機会も減ってきています。それでも学校帰りなど「声かけ」に対して大きな声で「こんにちは」と返事があると清々しい気持ちになります。

最近よく目に付くのは、自転車の危険走行です。特に朝の登校時など横断歩道を渡っていても通勤通学のためスピードを出して走る人が多いです。またスマホを見ながらの運転や無灯火等子ども達にとって大変危険な存在となっています。この点については今後も充分気を付けてパトロールをしていこうと思います。

子ども達の声がうるさいと閉鎖になった公園もありますが、早く外で元気に遊ぶ声を聞きたい気持ちでいっぱいです。

入船・高洲中学校ブロック

入船高洲ブロックでは、入船と高洲の各々でパトロールしています。入船地区は、大型商業施設のゲームセンター、シンボルロードや三番瀬沿いの道、美浜運動公園や入船公園などをまわり、時々駅前の警察署で直近の状況を確認します。

高洲地区は、高洲公民館から境川の沿道、東京学館、高洲小・中などの学校周辺、各街区公園や高洲中央公園などをまわり、時には啓発物を配布しながら声かけしています。帰宅途中などの自転車の無灯火に対する声かけがほとんどです。最近は自動点灯する自転車が多くなり以前より無灯火の数は減りましたが、その中でも電池がなくなって点かないこともあるので、日頃の電池残量の確認も重要であることに気付かされます。

明海中学校ブロック

新年最初の早朝パトロール。子ども達は寒さでほほを赤らめながらも、手に書き初めなどを持って皆元気に登校していました。中学生の、特に男子の中には中学の3年間でぐんと大きく成長する子もいて、定期的に子ども達を見守っている立場としては目を細めるばかりです。危険なことがないか、怪しい人物はいないかという視点でのパトロールも大切ですが、こうして住民の一人として青少年の成長を見守っている温かな眼差しというのも、補導員活動の大切な素養なのではないかと感じました。

新町では電動自転車のバッテリー盗難が相次いでいましたが、犯人が捕まったとの報告を交番で受けました。物価高の折、治安の悪化も予想されますから、今後とも気を引き締めてパトロールしていきたいと思っています。

日の出中学校ブロック

日の出中ブロックは春期から秋期は夜パトを、冬期は朝パトを中心に活動しています。夜パトでは通学路、公園、三番瀬を学校の先生方と一緒に見回っています。公園のお手洗いや三番瀬など、人目に付きにくい場所は特に念入りにパトロールしています。

朝パトでは通学路を中心に見守りをしています。日の出地区は割と治安が良く、歩道が車道より一段高くなっている道が多いため比較的安全ですが、信号機のない横断歩道が何箇所かあります。車がスピードを落とさずに横断歩道を通ることが多々あり、しばしばひやりとします。子ども達が安全に生活できるようこれからも見守りを続けていきたいと思っています。

新ユニフォーム誕生

補導員をもっと身近に感じてもらうために、愛称を「みまもり隊」とし、補導員でイラストレーターの大河原一樹さんのデザインで、「ケロヤス」というキャラクターが誕生しました。

ユニフォームを白いジャンパーから緑のビブスに変更し、「ケロヤス」を前後にプリントし、缶バッジとピンバッジも作りました。

パトロール中に、子ども達から“カワイイ”と声をかけられ、うれしい反響もありました。



第53回千葉県青少年補導員補導（委）員大会

令和4年11月27日（日）に第53回千葉県青少年補導（委）員大会が開催されました。浦安市からは上平 紀子氏と宇田川 勉氏が永年従事表彰者として表彰されました。上平氏につきましては昭和60年に補導員になられ、平成30年から令和2年まで浦安市青少年補導員連絡協議会会長として活躍されました。宇田川氏につきましては平成3年に補導員になられ、令和2年から令和4年まで浦安市青少年補導員連絡協議会副会長として活躍されました。お二人の多年にわたる補導員活動と浦安市青少年補導員連絡協議会への貢献に敬意を表したいと思います。



また、3年ぶりに各市の補導員が一堂に会すことができ、お互い情報交換し補導員活動へ意識が高まったのではないかと思います。

県下一斉広域列車パトロール

去年・一昨年とコロナ禍のため中止されていた県下一斉広域列車パトロールが、3年ぶりの実施となりました。今年は、今までと実施方法を変え、列車の乗車は京葉線の新浦安～舞浜間のみとし、メインは浦安駅・新浦安駅・舞浜駅周辺での学生への声かけとしました。まだコロナ禍ということもあり、学校の先生と一緒にパトロールすることは控え、規模を縮小しての実施となってしまいました。しかし、子ども達の見守りは続けたいので、コロナだからと言って中止にするのではなく、今後も実施方法を工夫しながら、各種パトロールを積極的に実施していきたいと考えています。

訃報

2月の始めに森本会長がお亡くなりになりました。長く補導員として活躍されました。享年67歳とまだ若くこれから会長として辣腕を振るっていただけたらと思っていた矢先でしたので大変残念です。改めてご冥福をお祈り致します。

<雑感>

明るいい日差しの下、桜の季節となりました。久しぶりの「べかぶね」が、紙面発行からHPでの掲載が「メインになり、今まで以上に幅広い年齢層の方々に閲覧いただけるのではないかと期待しています。

ピカピカのランドセルを背負った新一年生、未来に向かってつっぱしれ！応援しています。



「べかぶね」命名の由来

べかぶねとは、漁船の中でも一番小さな船で海苔取り舟のことをいう。青少年が社会という荒波をものがきながら必死に生きていく姿が、べかぶねに似ていることから広報誌の由来となりました。

